

特 記 仕 様 書

工事名称	市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事
工事場所	三原市宮浦一丁目
工事内容	市営宮浦北住宅 1 号棟の外壁改修を行う。 [工事概要] (1) 住棟 ・外壁改修工事 S=2,549㎡ ・屋根防水改修工事 S=575㎡
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修) に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和 8 年 3 月 30 日をもって工期とする。 このうち検査期間として 13 日間を見込んでいる。(工事の完成通知予定日は令和 8 年 3 月 17 日。)
留意事項	・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。 ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。 ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。 ・行政機関の休日に関する法律(昭和 63 年法律第 91 号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 ・本工事は「発注者指定型」による週休 2 日適用工事の対象工事であり、「三原市週休 2 日適用工事等実施要領(建築工事)」(令和 7 年 6 月 2 4 日改定)により工事を行うこと。 ・工事着手前までに「週休 2 日適用工事」または「週休 2 日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて

提出すること。

- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・外壁改修工事については、養生等によりバルコニー側の窓の開閉を制限するため、比較的气温の低い時期（11月頃）から着手すること。ただし、外壁劣化調査数量については、10月中に報告すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。

- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・品質について、社内検査員（当該工事に従事していない者）を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たるを有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R（2部）にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

市宮宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-00	タイトル、図面リスト		A-20	部分詳細図	1/30 1/20 1/5
A-01	建築改修工事特記仕様書（１）		A-21	（改修前）屋根部分詳細図、棟番号	1/30 1/10
A-02	建築改修工事特記仕様書（２）		A-22	（改修後）屋根部分詳細図、棟番号	1/30 1/10
A-03	建築改修工事特記仕様書（３）		A-23	仮設計画図（参考図）	1/500
A-04	建築改修工事特記仕様書（４）				
A-05	建築改修工事特記仕様書（５）				
A-06	外壁改修工事特記仕様書（１）				
A-07	外壁改修工事特記仕様書（２）				
A-08	付近見取図、工事概要				
A-09	配置図	1/500			
A-10	外部仕上表				
A-11	１～４階平面図、建具配置図	1/100			
A-12	５階平面図、建具配置図	1/100			
A-13	塔屋１・２階平面図、建具配置図	1/100			
A-14	南側立面図	1/100			
A-15	北側立面図	1/100			
A-16	西側、東側立面図	1/100			
A-17	矩計図	1/30			
A-18	階段断面詳細図	1/50			
A-19	建具表	1/50			

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（１）第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. A 00	図面縮小率	
			CH.	PL.	2024. 11.		DR.		市宮宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事	A-2 : 100%
					NAME				A-3 : 71%	
					タイトル、図面リスト				A-4 : 50%	

[illegible]

3

防水改修工事

①

降雨等に対する養生方法

②

既存防水の処理

③

既存下地の処置

4

アスファルト防水

改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。
・

〔 3.1.3 〕

既存保護層の撤去
・ 行う(範囲 図示) 〔 3.1.4 〕〔 3.2.3、4、6 〕
・ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う(範囲 図示)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上り塗装の除去
(・ MAS ・ MASI ・ MAC ・ MADI ・ L4X)

〔 3.2.6 〕

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 図示
POS工法及びPOS工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
改修標準仕様書3.2.6(4)(g)による
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通/パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層未端部の納まり部の処理
図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

〔 3.3.2～5 〕

屋根保護防水
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押入 ・れんが押入 JIS R 1250
・P1B	・B-1 ・B-2				
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3	(材質) JISA9521に基づく押出法		フラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度	
・P1BI	・BI-1 ・BI-2	ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキャン付き) (厚さ)(mm) 25・50			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

平場の保護コンクリートの厚さこて仕上がり
こて仕上がり 水下 80mm以上
床タイル張り 水下 60mm以上

乾式保護材
窯業系(パネル・無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。

(品質・性能)

分類・規格	・窯業系パネル類	・金属複合板
寸法(mm)	厚さ(mm)	
	幅(mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	-
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上 凍結融解完了時(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)(試験サイクル数)	300以上 250以上(300)
吸水率(%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	
耐衝撃性能	質量500g(窯業系(パネル類は1.000g)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。
剛性(E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)	-	80,000N・cm ² 以上

(試験方法)
(1)寸法の測定方法
(厚さ)供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めて(パネルの厚さとする。
(幅)供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所のみを、JIS B 7512「鋼製尺」に規定する目量1mmの1級コンパックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは100mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系(パネル類は200サイクルまでとする。))なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

5

改質アスファルトシート防水

(5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調製したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。2時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)=(L2-L1)/L1×100 ΔL：吸水による長さ変化率(%)
L1：乾燥時の標線間の長さ(mm) L2：吸水時の標線間の長さ(mm)
(6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の凍中凍結水中融解法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系(パネル類は200サイクルまでとする。))
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に2時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、±20℃の空气中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築物ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単点支持方法による。試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1・1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・MAC	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4				製造所の仕様	・適用する
・M3D ・M3D	・D-1 ・D-2				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
・M3DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2	JISA 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) 25・50			製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定
脱気装置の設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)

屋根露出防水 断熱断熱工法の場合の、ルーフトイレ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示
屋内防水

工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

E-1の場合で工程3を行う部位(貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)保護層・設ける(図示)・設けない
立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法
アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 図示

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・MA4S	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			製造所の仕様	・適用する
・MA4S ・MA4S ・MA4S	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
・MA4SI ・MA4SI ・MA4SI	・AS-I1 ・AS-I1 ・AS-I1	JISA 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) 25mm ・50mm		製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない 防湿層・設ける ・設けない

6

合成高分子系ルーフィングシート防水

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
厚さ (mm以上)

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法
アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度

断熱断熱工法の防水工法シート

・設置する
・設置しない

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・POS ・S4S	・S-F1				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1				製造所の仕様	・適用する
	・S-M2				製造所の仕様	・適用する
・S3S	・S-F1				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない
	・S-M2				製造所の仕様	・適用する
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・MA4S1	・SI-F1	改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(b)による(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) 25・50			製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
	・SI-F2 ・SI-M1	改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(a)による(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) 25・50			製造所の仕様	・適用する
	・SI-M2				製造所の仕様	・適用する

S・F1、S・M1、S・F2、S・M2の仕様
非歩行用 ・ 軽歩行用
S・M1及びS・M2における防湿用フィルムの設置
設置しない ・ 設置する
SI・M2の断熱用シートの材質
発泡ポリエチレンシート
S・M2及びSI・M2の立上り部の工法
接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ 1.5mm) ・ 機械的固定工法

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層	立上り部の保護モルタルの塗厚
・S・C1		平場のモルタル塗り ・ 工法 ・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り	7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

固定金具の材質及び寸法形状
防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類 ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理(接着工法の場合)
・行う(図示)・行わない
プレキャストコンクリート部材の隅部への増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う(図示)・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

7

塗膜防水

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	使用量	高日射反射率防水	備考
・P0X ・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H			2成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設けない
・L4X ・X-1 ・X-2 ・X-3H ・X-2H				主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置・設ける ・設けない
・P1Y ・Y-2						保護層・設ける ・設けない
・P2Y ・Y-2						保護層・設ける ・設けない

X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類 主材料の製造所の仕様
X-1(絶縁工法)の脱気装置の設置数量 主材料の製造所の仕様 (個)

シーリング

〔 3.7.2、3、3.7.7 〕

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
○シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレイカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所
・図示による ・ 打継目地
シーリング材の目地寸法 改修標準仕様書表3.7.3(1)による
接着性試験 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

といの材質
・配管用銅管
○硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトイレ
・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ()

ルーフトイレ

種別	施工箇所
・ろく屋根用(・板型・模型)	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔
改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
多雪地域 ・ 適用する
防雨材のホルムアルデヒド放散量 F
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 図示
鋼管製といの防湿巻き 改修標準仕様書表3.8.4による
たてとい受金物の取付け 図示

〔 3.9.2、3 〕

種類 ・ オープン形式(・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形)
・ 板材折曲げ形(・ オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 ()mm 板厚 (2.0mm) mm
表面処理 種別 () 種
色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
既存笠木等の撤去 ・ 行う(範囲 図示) ・ 行わない
下地補修の工法 図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 図示
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

8

アルミニウム製笠木

防水改修フロー及び数量
・ 既存保護層の補修及び処置

防水面調査(施工数量調査)

ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修(脱気を利用する場合)			
アスファルト防水工事用シール材(幅2mm未満)	ひび割れのうえシール材(幅2mm以上)	ポリマーセメントモルタル補修	ポリマーセメントモルタル補修	隙間のうえ、ポリマーセメントモルタル補修	アスファルト防水工事用シール材	ポリマーセメントモルタル補修	既存目地撤去のうえポリウレタン系シーリング材	
0m	0m	0m	0m2	0m2	0m2	0m	0m	0m

シーリング改修
シーリング再充填工法

mm×mm	mm	mm	mm×mm	mm
0m	0m	0m	0m	0m

特記事項

訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB . NO . DATE 2024.11. CH . PL . DR . SCALE TITLE 市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事 NO . A 02 図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%

NAME 建築改修工事特記仕様書(2)

[illegible]

1

石綿含有建材の除去工事

2

外断熱改修工事

3

新熱・防震改修工事

4

屋上緑化改修工事

5

透気性アスファルト舗装改修工事

6

新熱・防震改修工事

7

透気性アスファルト舗装改修工事

8

新熱・防震改修工事

9

石綿含有建材の除去工事

10

その他

11

その他

12

その他

13

その他

14

その他

15

その他

16

その他

17

その他

18

その他

19

その他

20

その他

21

その他

22

その他

23

その他

24

その他

25

その他

26

その他

27

その他

28

その他

29

その他

30

その他

31

その他

32

その他

33

その他

34

その他

35

その他

36

その他

37

その他

38

その他

39

その他

40

その他

41

その他

42

その他

43

その他

44

その他

45

その他

46

その他

47

その他

48

その他

49

その他

50

その他

51

その他

52

その他

53

その他

54

その他

55

その他

56

その他

57

その他

58

その他

59

その他

60

その他

61

その他

62

その他

63

その他

64

その他

65

その他

66

その他

67

その他

68

その他

69

その他

70

その他

71

その他

72

その他

73

その他

74

その他

75

その他

76

その他

77

その他

78

その他

79

その他

80

その他

81

その他

82

その他

83

その他

84

その他

85

その他

86

その他

87

その他

88

その他

89

その他

90

その他

91

その他

92

その他

93

その他

94

その他

95

その他

96

その他

97

その他

98

その他

99

その他

100

その他

101

その他

102

その他

103

その他

104

その他

105

その他

106

その他

107

その他

108

その他

109

その他

110

その他

111

その他

112

その他

113

その他

114

その他

115

その他

116

その他

117

その他

118

その他

119

その他

120

その他

121

その他

122

その他

123

その他

124

その他

125

その他

126

その他

127

その他

128

その他

129

その他

130

その他

131

その他

132

その他

133

その他

134

その他

135

その他

136

その他

137

その他

138

その他

139

その他

140

その他

141

その他

142

その他

143

その他

144

その他

145

その他

146

その他

147

その他

148

その他

149

その他

150

その他

151

その他

152

その他

153

その他

154

その他

155

その他

156

その他

157

その他

158

その他

159

その他

160

その他

161

その他

162

その他

163

その他

164

その他

165

その他

166

その他

167

その他

168

その他

169

その他

170

その他

171

その他

172

その他

173

その他

174

その他

175

その他

176

その他

177

その他

178

その他

179

その他

180

その他

181

その他

182

その他

183

その他

184

その他

185

その他

186

その他

187

その他

188

その他

189

その他

190

その他

191

その他

192

その他

193

その他

194

その他

195

その他

196

その他

197

その他

198

その他

199

その他

200

その他

201

その他

202

その他

203

その他

204

その他

205

その他

206

その他

207

その他

208

その他

209

その他

210

その他

211

その他

212

その他

213

その他

214

その他

215

その他

216

その他

217

その他

218

その他

219

その他

220

その他

221

その他

222

その他

223

その他

224

その他

225

その他

226

その他

227

その他

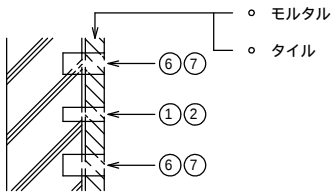
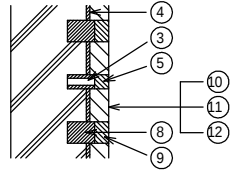
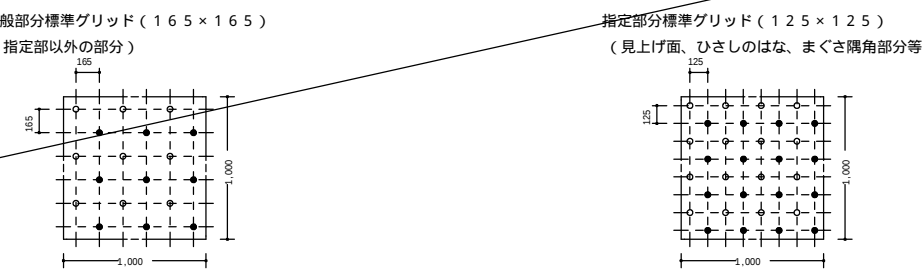
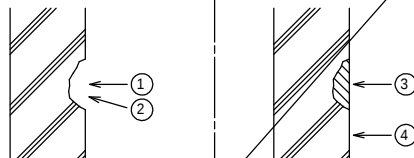
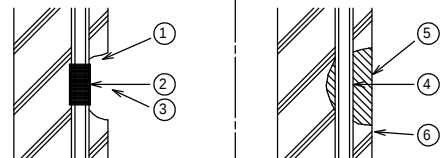
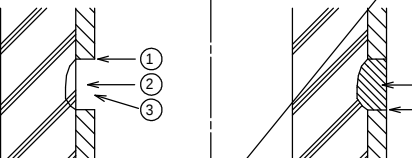
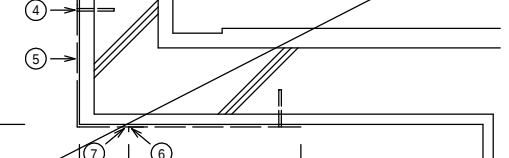
228

その他

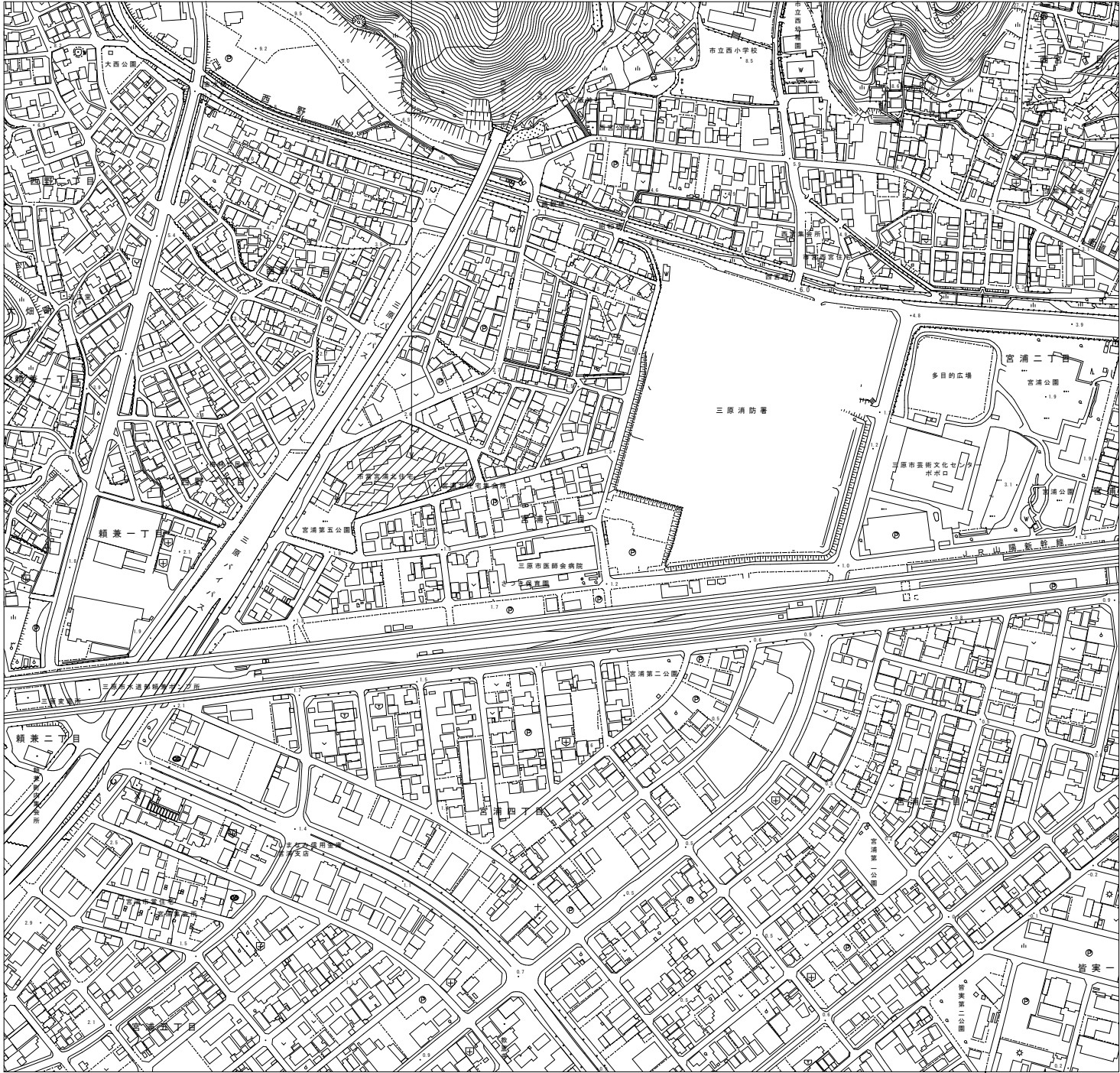
229

その他

名 称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理											
記号・仕様		A - 1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]				A - 2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]				B - 1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2～1.0mm				B - 2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上				B - 3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2～1.0mm			
改修前	改修後																				
工 程		既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） 参考数量：㎡				既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） 参考数量： ㎡				サンダーケレン ひび割れ部シール エポキシ樹脂注入 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， ， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0.2～0.5mm （ ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す				ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） シーリング材打設 Uカット部埋戻し （ポリマーセメントモルタル） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： m				ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： m			
名 称		B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理															
記号・仕様		B - 4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2～1.0mm				B - 5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2～1.0mm				B - 6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上				B - 7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm				C - 1 打放し面錆鉄筋部処理			
改修前	改修後																				
工 程		サンダーケレン ひび割れ部シール エポキシ樹脂注入 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， ， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0.2～0.5mm （ ） ひび割れ幅 0.5～1.0mm （ ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す				ひび割れ周囲モルタルカッター切り モルタル除去 ひび割れ部シール エポキシ樹脂注入 埋戻し セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：				ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） シーリング材打設 Uカット部埋戻し （ポリマーセメントモルタル） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：0.0m				ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：				錆鉄筋周辺のはつり 錆落とし 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 防錆処理 はつり部埋戻し整形 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：12.0㎡ 6-1号棟 ：6.0㎡ 6-2号棟 ：6.0㎡			
名 称		C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理															
記号・仕様		C - 2 モルタル面錆鉄筋部処理				D - 1 モルタル面はつり				D - 2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D - 2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]											
改修前	改修後																				
工 程		カッター縁切り 浮き部はつり 錆落とし 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 防錆処理 はつり部埋戻し整形 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： 3.0㎡				カッター縁切り 浮き部はつり 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） はつり部埋戻し整形 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： 4.0㎡				穿孔 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 孔内エアークリーン 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 エポキシ樹脂注入 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ステンレスピン挿入 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 サンダーケレン 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， ， ， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：											
特記事項		訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫						JOB. NO.		DATE 2024.11.		SCALE		TITLE 市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		NO.		図面縮小率	
										CH.		PL.		DR.				A		A-2：100%	
																NAME 外壁改修工事特記仕様書（1）				A-3：71%	
																		06		A-4：50%	

名 称		D 浮き部処理																																																																																																									
記号・仕様		D - 6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕 4 . 4 . 1 4] D - 6 ' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕 4 . 5 . 1 3]																																																																																																									
改修前	改修後																																																																																																										
工 程		<table><tr><td>ピン固定部穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>孔内エアークleaning</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>注入口穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>サンダーケレン 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m²) セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ステンレスピン (注入口付) 挿入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>孔内エアークleaning</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>参考数量 : 一般部分 : 指定部分 : 狭幅部 :</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	サンダーケレン 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm)					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所					ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所					エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	参考数量 : 一般部分 : 指定部分 : 狭幅部 :					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所				
ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所																																																																																																
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																
孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	サンダーケレン 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm)																																																																																																			
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																				
ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む																																																																																																			
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																				
エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	参考数量 : 一般部分 : 指定部分 : 狭幅部 :																																																																																																			
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																				
名 称		E 欠損部処理																																																																																																									
記号・仕様		E - 1 打放し面充填工法 [標仕 4 . 3 . 7]				E - 2 打放し面欠損部処理 [標仕 4 . 3 . 3]				E - 3 モルタル面欠損部処理 [標仕 4 . 4 . 3]																																																																																																	
改修前	改修後																																																																																																										
工 程		欠損部はつり等での整形 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) 欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂 mortar または ポリマーセメント mortar] 防錆処理 セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm) A - 1 工法を行う場合 , , の工程は A - 1 工法に含む 参考数量 :				欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 錆落とし 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) 防錆処理 欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂 mortar または ポリマーセメント mortar] セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm) A - 1 工法を行う場合 , , の工程は A - 1 工法に含む 参考数量 : 5.0㎡				カッター縁切り 欠損部はつり等での整形 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) 欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂 mortar または ポリマーセメント mortar] セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm) (鉄筋の露出部がある場合は E - 2 による) A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む 参考数量 : 12.0㎡																																																																																																	
		<table><tr><td rowspan="2">参考数量</td><td>ネット張り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>水切り</td><td></td><td></td></tr></table>										参考数量	ネット張り			水切り																																																																																											
参考数量	ネット張り																																																																																																										
	水切り																																																																																																										
名 称																																																																																																											
記号・仕様																																																																																																											
改修前	改修後																																																																																																										
工 程																																																																																																											
特記事項		訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築 設計 事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫				JOB . NO . DATE 2024.11. CH . PL . DR .		SCALE		TITLE 市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事 NAME 外壁改修工事特記仕様書 (2)		NO . A 07		図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%																																																																																											

工事場所
三原市宮浦一丁目
市営宮浦北住宅

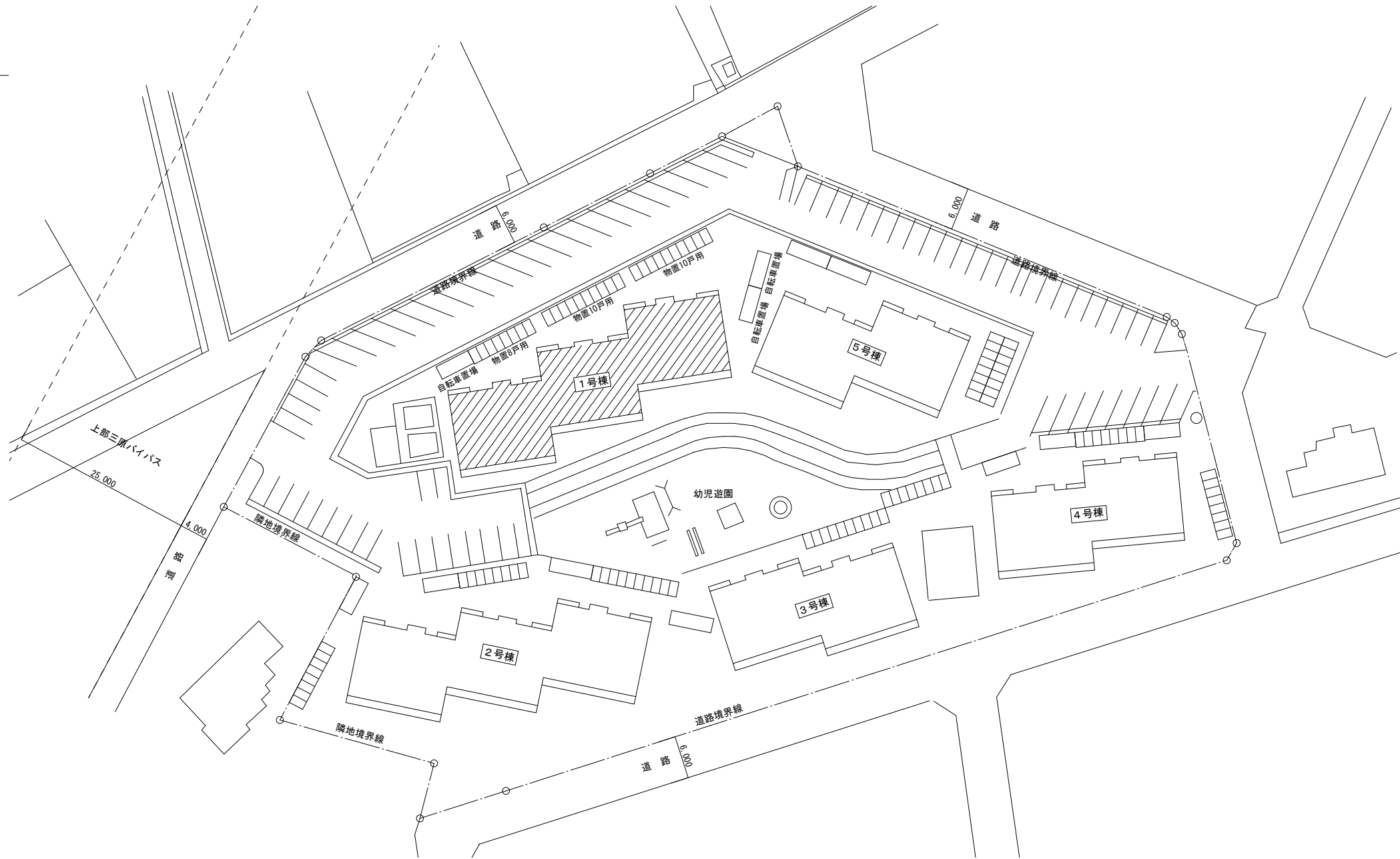
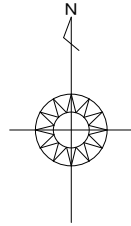


付近見取図

出典
※国土地理院図を一部編集

市営宮浦北住宅1号棟 工事概要
RC造 5階建 延べ面積 1,896.57㎡
外壁改修工事
屋根防水改修工事
ベランダ防水工事
手すり等改修工事
縦樋、軒樋取替工事

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO. A 08	図面縮小率
			CH.	2024. 11.		市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		
			P.L.	DR.		NAME		
						付近見取図、工事概要		



配置図 S=1/500

凡例



工事範囲を示す

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	PL.	DR.	市宮宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事	A 09	A-2 : 100%
					1/500	NAME 配置図		A-3 : 71%
								A-4 : 50%

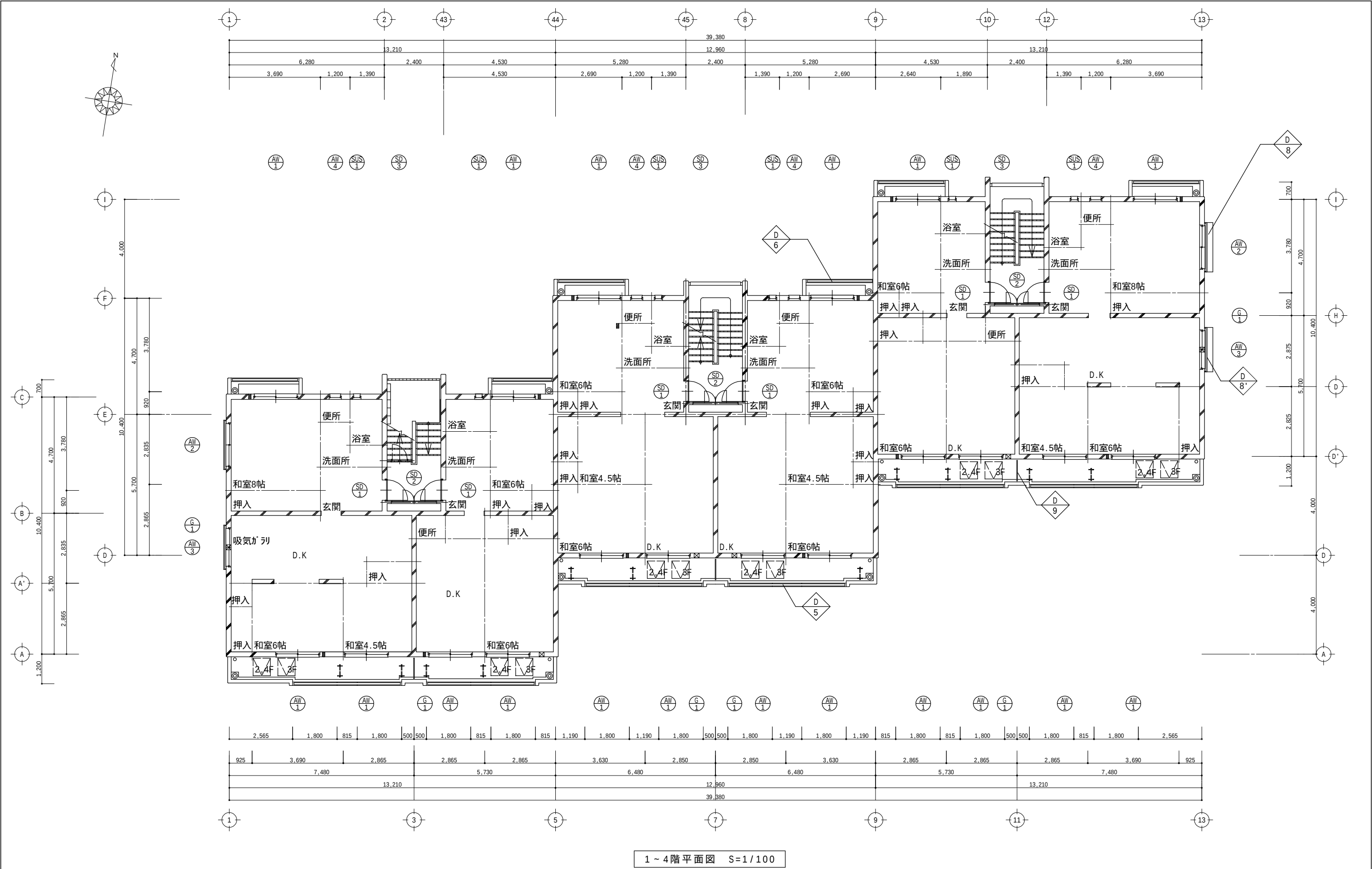
A 外 部 仕 上 表					
符号	場所・部位	下地	改 修 前	改 修 後	備 考
			仕 上	仕 上	
①	根回り	M	モルタル金コテ（高圧水洗浄）	複層塗材E吹付（新設）	
②	外壁・パラベット 軒鼻・バルコニー壁	C	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し（既設）	複層塗材E吹付	
③	物置外壁	C	アクリルリシン吹付 PC板（既設）	複層塗材E吹付	
④	軒裏	C	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し（既設）	外装薄塗材（E）吹付	
⑤	庇裏	C	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し（既設）	外装薄塗材（E）吹付	
⑥	バルコニー天井	C	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し（既設）	外装薄塗材（E）吹付	
⑦	バルコニー床	M	防水モルタル金コテ（高圧水洗浄）	ポリマーセメント系塗膜防水（PA-1）	
⑧	窓台	M	防水モルタル金コテ（高圧水洗浄）	ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	
⑨	面台 庇（上部分・見付・小口）	M	防水モルタル金コテ（高圧水洗浄）	ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	
⑩	物置屋根	C	PC板（高圧水洗浄）	ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	
⑪	バルコニー・窓手すり	S	SOP(下地処理)	DP塗替え	
⑫	隔て板	S 大平板	SOP（下地処理） 大平板（撤去処分）	DP塗替え ケイカル板. t =6.0 DP塗装（新設）、避難用ステッカー貼替	
⑬	物干し金物	S	SOP(下地処理)	DP塗替え	
⑭	分電盤等	S	焼付塗装(下地処理)	DP塗替え	
⑮	縦樋（北側）	VP	塩化ビニールパイプ（撤去処分）	カラーVPφ100に取替 掴み金物共SUS（新設）	
⑯	保護管	S	SGP125φ（撤去処分）	SGP125φDP塗装 掴み金物共（SUS）（新設）	
⑰	縦樋（バルコニー側）	VP	塩化ビニールパイプ（撤去処分）	カラーVPφ100、φ75Iに取替 掴み金物共（SUS）（新設）	
⑱	棟番号表示	S	銅製SOP 2ヶ所 400×300 700×200（撤去処分）	銅製DP 2ヶ所 400×300 700×200（新設）	
⑲	1号棟 階数表示板、室名札		階数表示 16ヶ所、室名札 28ヶ所（撤去処分）	階数表示板（SK600A）16ヶ所、室名札（SK-602W-2）28ヶ所（新協和同等品）	
⑳	階段室	C M	壁、階段裏コンクリート打ち放しの上アクリルリシン吹付（A-1） 腰壁 モルタル金コテの上AEP（A-2）	外装薄塗材（E）吹付 複層塗材E吹付	
㉑	階段室天井		大平板 t =5.0 アクリルリシン吹付（下地処理）	外装薄塗材（E）吹付	
㉒	自転車置場	S	屋根：大波スレート（撤去処分）、鉄部：SOP塗（下地処理）	屋根：大波スレート（新設）、DP塗替え	
㉓	階段室（P・Sドア）	S	SOP塗（下地処理）	DP塗替え（両面）	
㉔	玄関ドア	S	SOP塗（下地処理）	DP塗替え（両面）	
㉕	目隠し		アルミパネル（一時撤去）	アルミパネル（再取付）	

特 記 事 項	
・エアコン室外機 1号棟 29ヶ所 一時移転再取付施工後作動確認	その他外構
・BSアンテナ 1号棟 4ヶ所 一時移転後再取付	
・外部建具：建具周囲シーリング打替（共通）	
・ガラスクリーニング（共通）	

塗装面下地調整	
（イ）	亜鉛メッキ面の下地調整RB種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り
（ロ）	鋼製建具面の下地調整RB種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り
（ハ）	モルタル・ボード面の下地調整RB種30%
（ニ）	鉄面の下地調整RB種30%の上、錆止め塗料A種、錆止め塗料塗りC種
（ホ）	VE(VP)管の下地調整 汚れ付着除去程度
（二）	アルミ面は、脱脂、エッチング、スマット除去溶剤、クロメート系化成皮膜処理材

凡 例	
SOP	合成樹脂調合ペイント
AE（VP）	塩化ビニル樹脂エナメル
C	コンクリート
M	モルタル
S	鋼製
EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント
DP	耐候性塗料

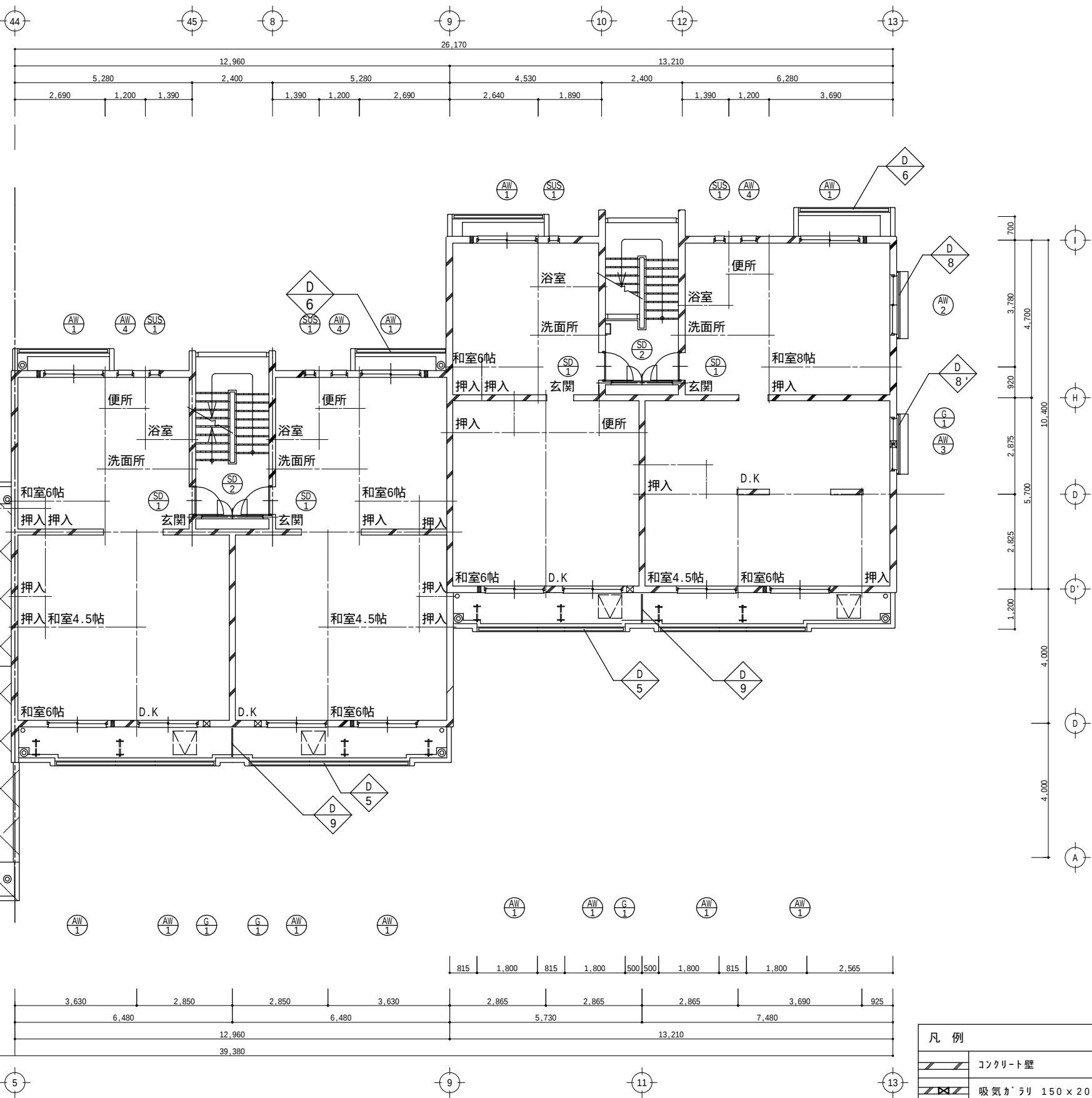
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（1）第0497号 岡 田 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE 2024.11.		SCALE	TITLE 市宮宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事	NO. A 10	図面縮小率
			CH.	PL.	DR.		NAME 外部仕上表		A-2：100%
									A-3：71%
									A-4：50%



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE 1/100	TITLE	NO. A 11	図面縮小率	
			CH.	PL.	2024.11. DR.		市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		NAME 1 ~ 4階平面図、建具配置図	A-2 : 100%
										A-3 : 71%
										A-4 : 50%

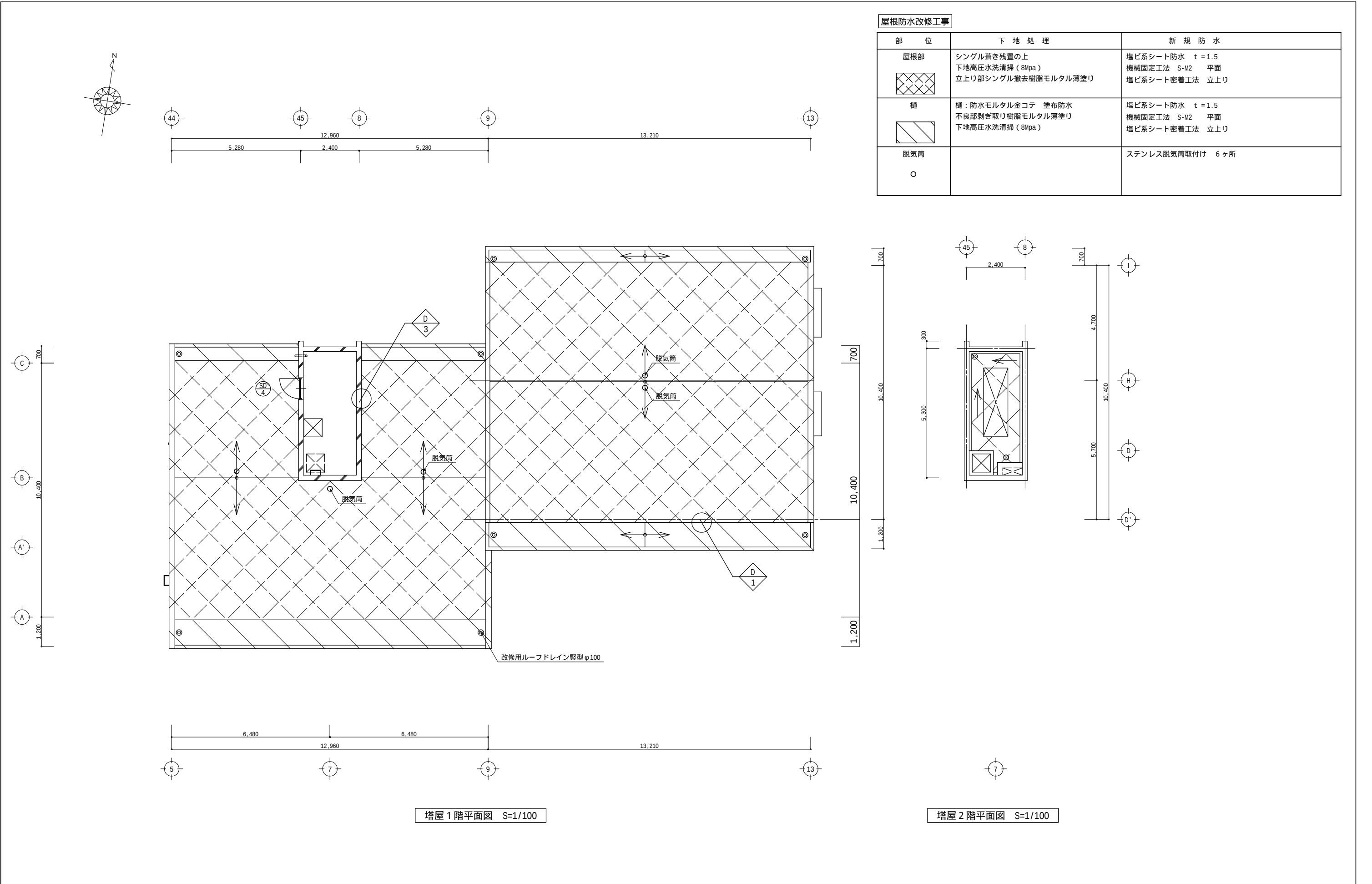
屋根防水改修工事

部 位	下 地 処 理	新 規 防 水
屋根部 	シングル葺き残置の上 下地高圧水洗清掃（8Mpa） 立上り部シングル撤去樹脂モルタル薄塗り	塩ビ系シート防水 t = 1.5 機械固定工法 S-M2 平面 塩ビ系シート密着工法 立上り
樋 	樋：防水モルタル金コテ 塗布防水 不良部剥き取り樹脂モルタル薄塗り 下地高圧水洗清掃（8Mpa）	塩ビ系シート防水 t = 1.5 機械固定工法 S-M2 平面 塩ビ系シート密着工法 立上り
脱気筒 		ステンレス脱気筒取付け 2ヶ所

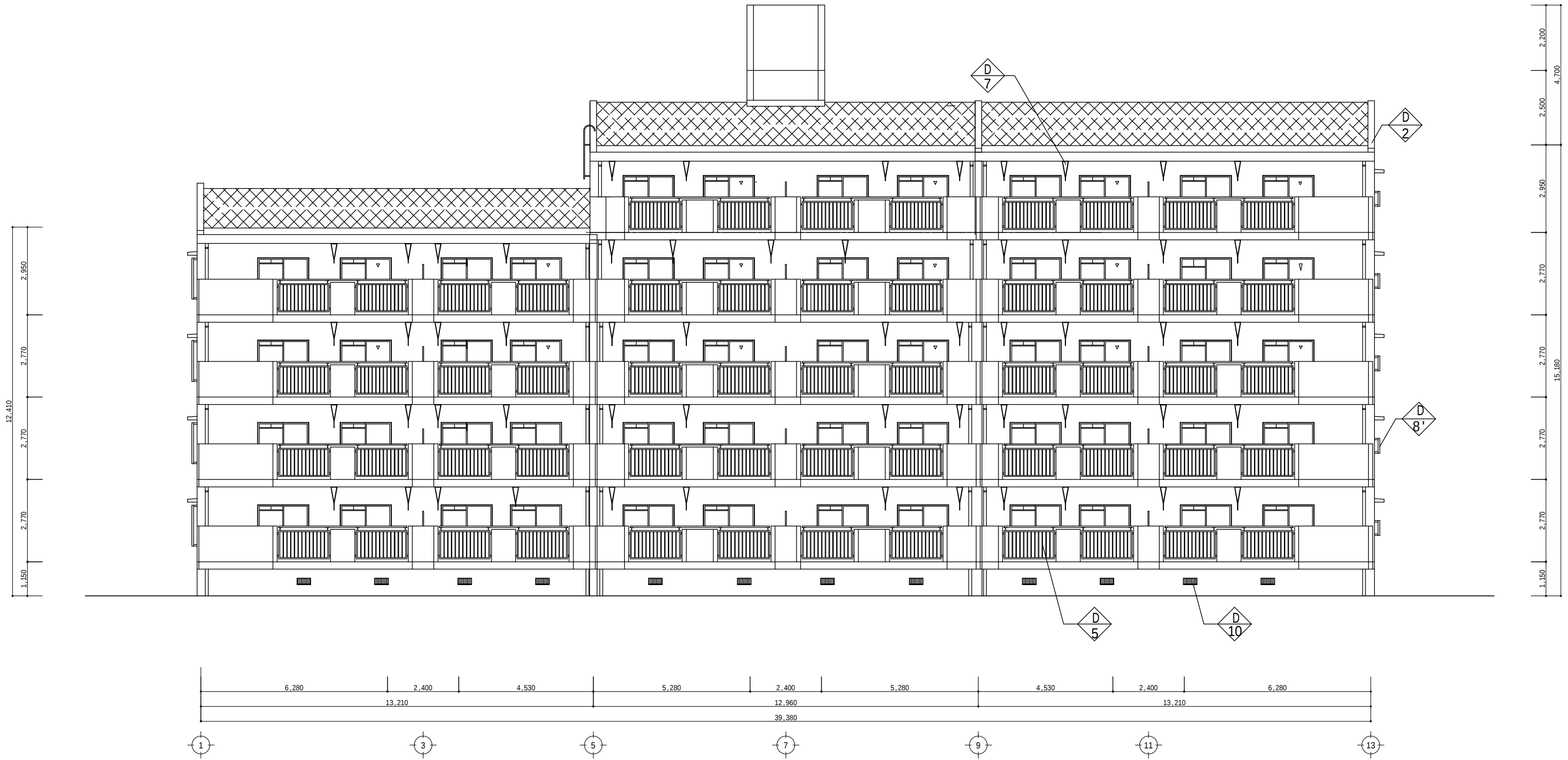


凡 例	
	コンクリート壁
	吸気カ'ラリ 150×200
	ケーラ-用スリーフ 100φ
	緩降機 700×700

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE 1/100	TITLE	NO . A 12	図面縮小率		
			CH .	PL .	2024.11.		市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		A-2 : 100%		
					DR .				NAME	5 階平面図、建具配置図	A-3 : 71%

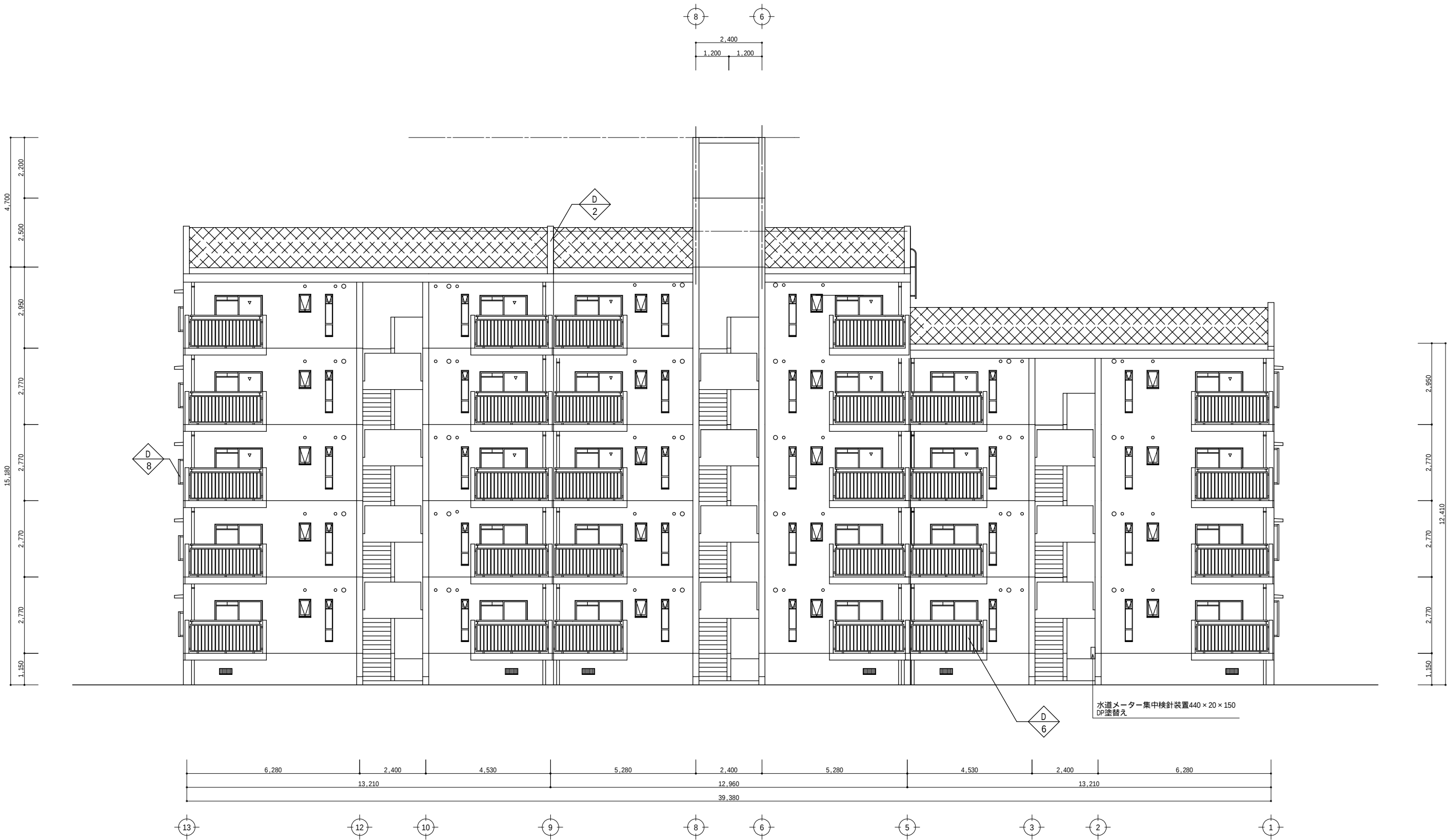


特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE 1/100	TITLE	NO . A 13	図面縮小率
			CH .	PL .	2024.11.		NAME		A-2 : 100%
					DR .				A-3 : 71%
									A-4 : 50%



南側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE	TITLE	NO . A 14	図面縮小率		
			CH .	PL .	2024.11.	1/100	市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事		A-2 : 100%		
					DR .				NAME	南側立面図	A-3 : 71%

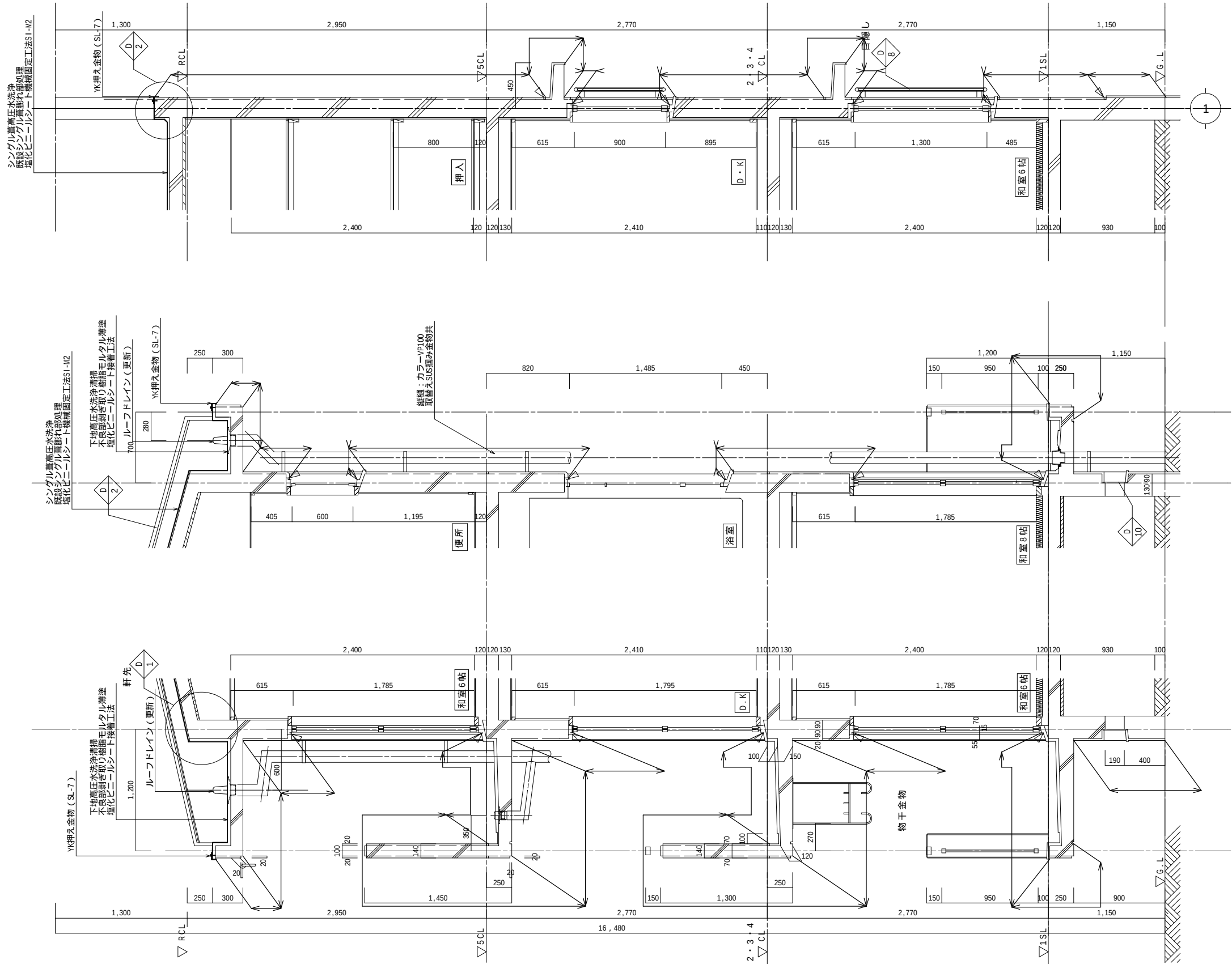


北側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .	DATE	SCALE	TITLE	NO . A / 15	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH .	2024.11. DR .				
			PL .		1/100	市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		
						NAME 北側立面図		



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（1）第0497号	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率			
		岡田建築設計事務所	CH.	P.L.	2024. 11. DR.	1/100	市宮宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事	A 16	A-2：100%		
									NAME	西側・東側立面図	A-3：71%
											A-4：50%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫									



矩計図 S=1/30

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号

岡田 建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

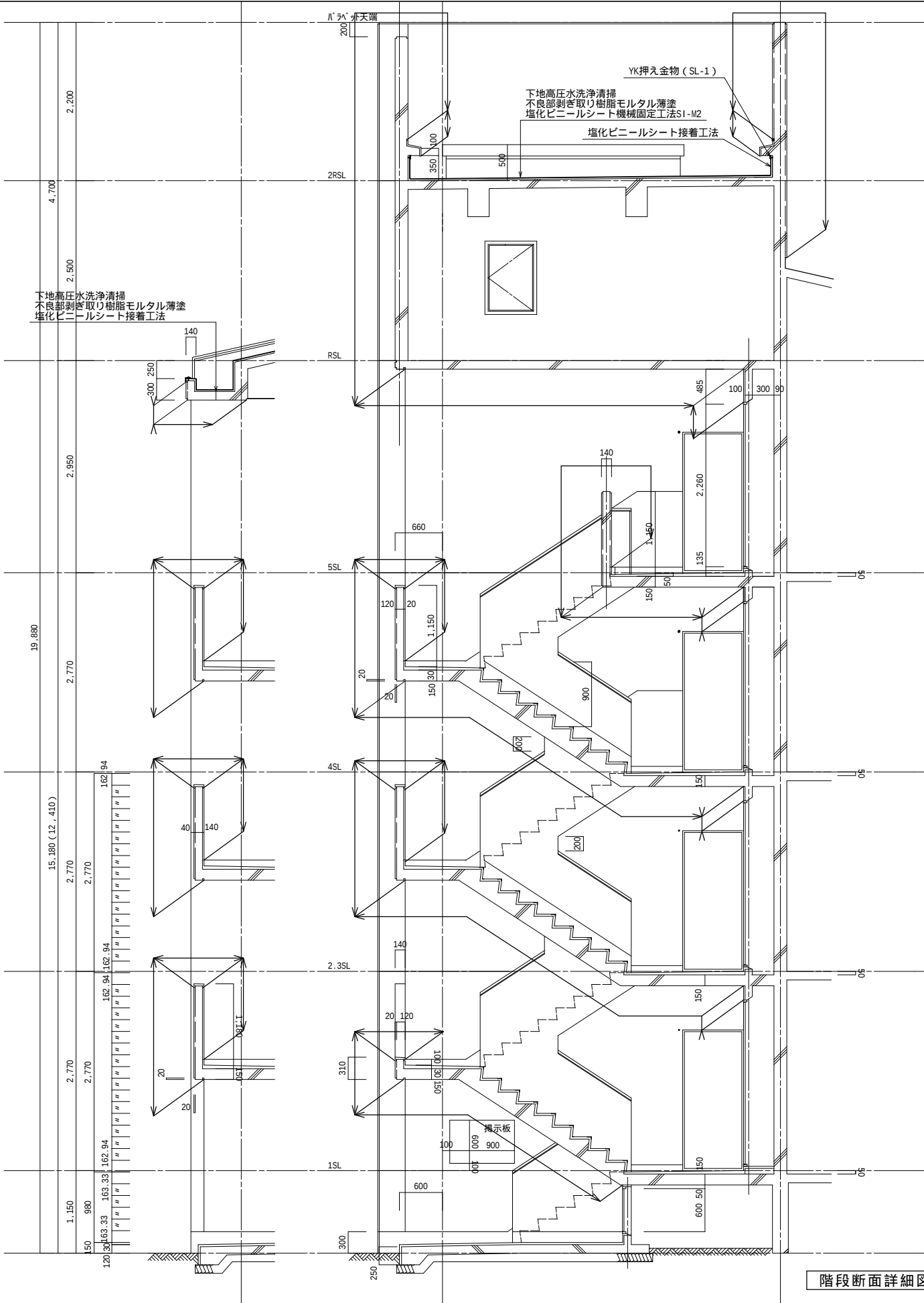
JOB . NO .	DATE
CH .	2024.11.
PL .	DR .

SCALE
1/30

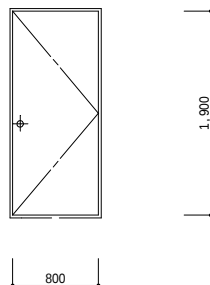
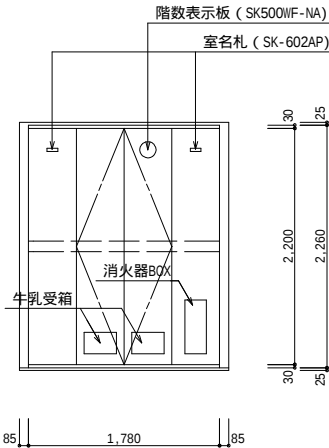
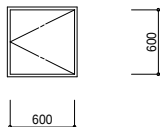
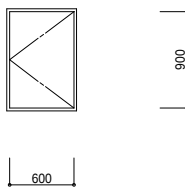
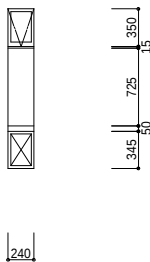
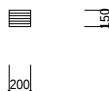
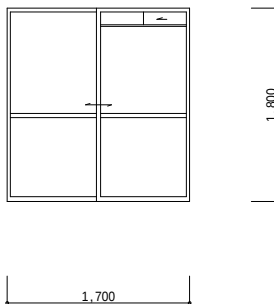
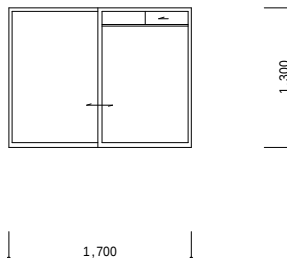
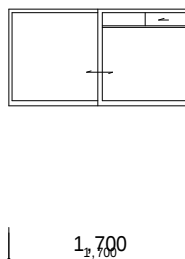
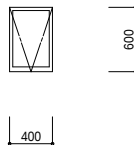
TITLE
市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事
NAME
矩計図

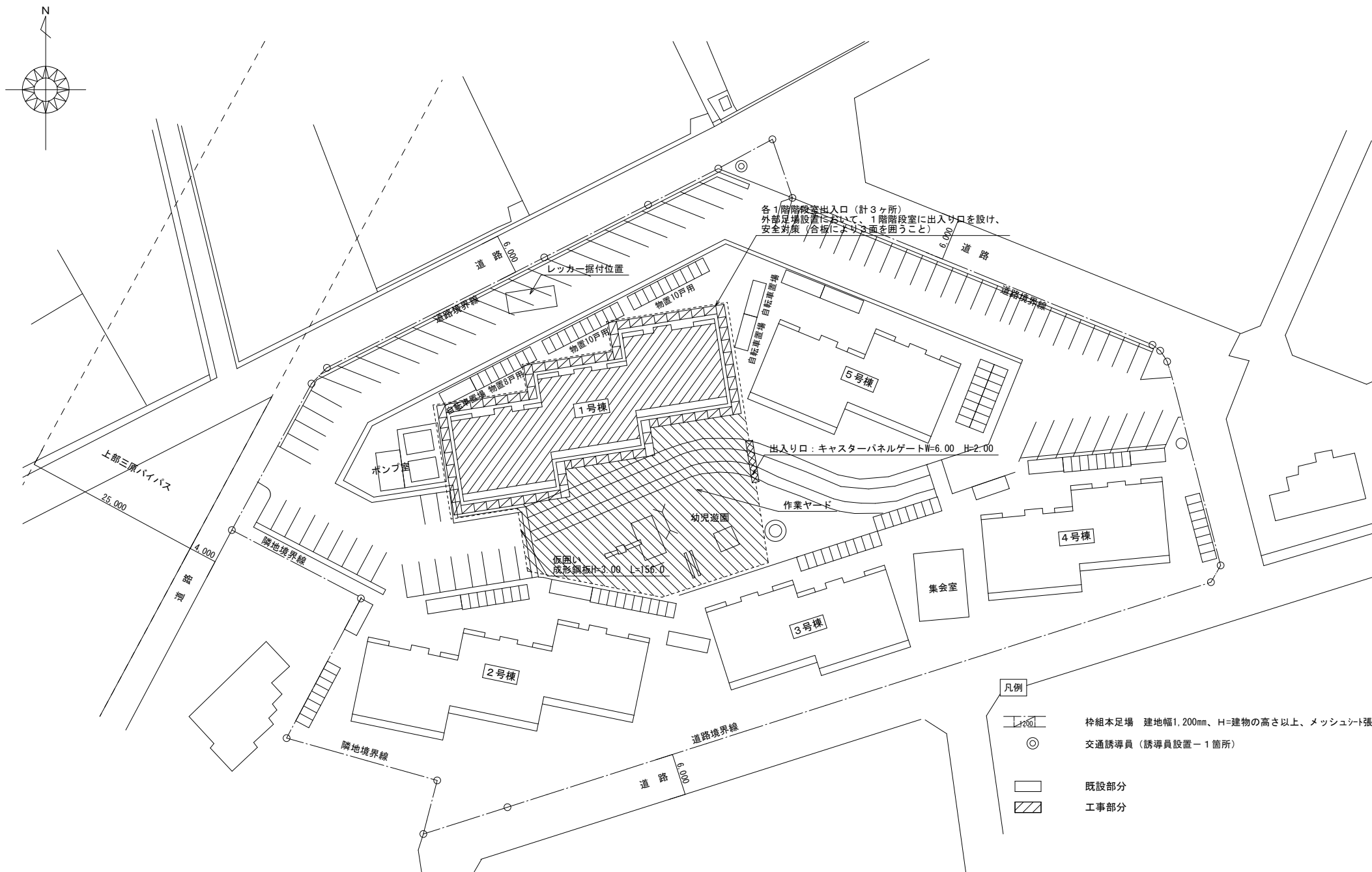
NO .
A
17

図面縮小率
A-2 : 100%
A-3 : 71%
A-4 : 50%



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE 1/50	TITLE	NO . A 18	図面縮小率	
			CH .	PL .	2024.11.		NAME		A-2 : 100%	
					DR .				階段断面詳細図	A-3 : 71%
										A-4 : 50%

符号・場所		SD 1 玄関						SD 2 階段室			SD 3 階段室			SD 4 塔屋			SUS 1 浴室			G 1 DK			
棟	階	1階	2～4階	5階				1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	R階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	
	1	6	6×3	4				3	3×3	2	3			1			6	6×3	4	6	6×3	4	
形状・寸法																							
材種		スチール製						スチール製			スチール製			スチール製			ステンレス製			スチール製			
型式		片開き両面フラッシュドア						両開きプレストア両袖パネル (ケントン)			片開きアングルドア			片開フラッシュドア			ハメ殺し付内倒し窓			ガラス窓			
見込・仕上		80 FP						50 FP			45 FP			86 FP			30						
金物		-----						階数表示板 (SK500WF-NA) (取替)			-----			-----			-----			-----			
ガラス		-----						消火器BOX,、牛乳受箱 (既設のまま)			-----			-----			-----			-----			
備考		DP塗替え (両面)						DP塗替え (両面)			DP塗替え (両面)			DP塗替え (両面)			建具周囲シーリング 打替え、ガラスクリーニング			DP塗替え			
符号・場所		AW 1 和室						AW 2 和室			AW 3 DK			AW 4 便所									
棟	階	1階	2～4階	5階				1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階							
	1	18	18×3	12				2	2×3	1	2	2×3	1	4	4×3	3							
形状・寸法																							
材種		アルミ合金押出型材						AW 1 二準ずる			AW 1 二準ずる			アルミ合金押出型材									
型式		引違い戸小窓付												内倒窓									
見込・仕上		70												60									
金物		-----												-----			-----			-----			
ガラス		-----												-----			-----			-----			
備考		建具周囲シーリング 打替え、ガラスクリーニング												建具周囲シーリング 打替え、ガラスクリーニング			-----			-----			
特記事項		訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫								JOB. NO.		DATE 2024.11. DR.		SCALE 1/50		TITLE 市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事		NO. A 19		図面縮小率	
												CH.		PL.				A-2：100%					
																		A-3：71%					
																		A-4：50%					



仮設計画図（参考図） S=1/500

仮設計画

- ・資材置き場等については、別途監督員と協議すること。
- ・工事用車両の駐車については、仮設計画図による他、別途監督員と協議すること。
- ・階段部 通路を設ける（玄関まで）

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（1）第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE 1/500	TITLE	NO. A 23	図面縮小率			
			CH.	P.L.	2024. 11.		市宮宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		NAME 仮設計画図（参考図）	A-2：100%		
					DR.							A-3： 71%
												A-4： 50%

参 考 数 量 書

工 事 名 称 市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事

工 事 場 所 三原市宮浦一丁目

[工 事 概 要]

用途、構造、面積

市営住宅、鉄筋コンクリート造5階建て、延床面積1,896.57㎡

工 事 範 囲

改修工事一式（建築主体工事）

別 途 発 注 工 事

無 し

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和8年3月30日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

工事費内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		消費税率 10 %
工事費		1	式		
調査基準価格		1	式		
調査基準価格の100/110		1	式		

工事種別内訳

[illegible]

建築工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 科目別内訳

建物外部改修

[illegible]

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む 22m未満 5階建 建築面積2,000㎡	2,001	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	176	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積2,000㎡	144	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 RC造標準日数 修理費含む 5階建 建築面積 750㎡	2,001	㎡			
養生(外壁改修)		279	㎡			
養生	一 般 RC・SRC造 外部階段	176	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		279	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般 RC・SRC造 外部階段	176	㎡			
出入口養生	階段室開口部 周囲合板張り	20.9	㎡			
仮設材運搬		1	式			
(外壁改修)						
複層塗材 E (アクリルタイル) (基準単価)	凸部処理 吹付け 下塗1回・ 基層塗1回・模様塗1回・ 上塗2回 水系アクリルつやあり	2,549	㎡			
下地調整費	モルタル・プ ラスター	2,549	㎡			
既存仕上材サンダーケ レン		2,549	㎡			

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	2,549	m ²			
(天井改修)						
外装薄塗材 E	ALC [®] 祢面 砂壁状 吹付け 下地調整費(E) 共	33.7	m ²			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	33.7	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1) 共	372	m ²			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	372	m ²			
(窓庇)						
窓庇 塗膜防水	ウレタン [®] ム系 X-2	31.7	m ²			
窓台 塗膜防水	ウレタン [®] ム系 X-2	28.7	m ²			
高圧洗浄		60.4	m ²			
下地調整費	モルタル・プ [®] ラスター	60.4	m ²			
床下換気口 DP塗り	鉄面 錆止め共	1	式			
(補修)						
C-1 クラック部打放し面サ ビ [®] 鉄筋処理		12	m			
D-1 モルタル面はつり	??????????	4	m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 屋根防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	575	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	575	m ²			
(防水)						
屋根面 塩ビ系シート防水	t=1.5 機械固定工法 S-M2 密着工法	421	m ²			
立上り 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	16.8	m ²			
笠木天端 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	12.1	m ²			
屋根樋床 塩ビ系シート防水	t=1.5 機械固定工法 S-M2 密着工法	57.9	m ²			
立上り 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	42.2	m ²			
笠木天端 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	12.2	m ²			
防水押え金物	SL1 M4	30.3	m			
防水押え金物	SL7	177	m			
脱気筒	ステンレス製	8	か所			
(既存面補修)						
既存面 高圧水洗浄工法	床面 (既存面)	421	m ²			

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 屋根防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既存面 高圧水洗浄工法	床面（既存撤去面）	57.9	m ²			
既存面 高圧水洗浄工法	立上り	59	m ²			
既存面 高圧水洗浄工法	笠木天端	24.3	m ²			
下地 樹脂モルタル薄塗り	平面	479	m ²			
下地 樹脂モルタル薄塗り	立上り	59	m ²			
下地 樹脂モルタル薄塗り	笠木天端	24.3	m ²			
（既存撤去処分）						
既存シングル葺き撤去	床面（141m2）	1	式			
金属笠木撤去		65.6	m			
水切り撤去		281	m			
計						

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 ベランダ防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	312	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	312	m ²			
(防水)						
庇床 塗膜防水	ポ リマーセメント系 (PA-1)	141	m ²			
立上り 塗膜防水	ポ リマーセメント系 (PA-1)	35. 4	m ²			
(既存面補修)						
既存面 高圧水洗浄工法	床・立上り面 (既存面)	177	m ²			
(シーリング 補修)						
仕上見切 シーリング		269	m			
シーリング 撤去	集積共	269	m			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

建物外部改修		発生材運搬処分				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(積み)						
発生材積み	プラスチック	1.8	m3			
発生材積み	スレート	0.8	m3			
発生材積み	不燃ｶﾞﾗ	0.1	m3			
(運搬)						
発生材運搬	プラスチック	1.8	m3			
発生材運搬	不燃ｶﾞﾗ	0.1	m3			
(処分)						
発生材処分	プラスチック	2.5	t			
発生材処分	スレート	1.6	t			
発生材処分	不燃ｶﾞﾗ	0.2	t			
(スクラップ)						
スクラップ	鉄くず	0.11	t			
スクラップ	アルミくず	32	kg			
計						

建築工事 別紙明細

建物外部改修 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			
仮設材運搬 (桢組本足場) (手すり先行方式)	建桢幅900(二枚布)	2,001	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	5階建	176	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	桢組本足場用(手すり先行方式)	144	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		2,001	m ²			
計						
床下換気口 DP塗り	鉄面 錆止め共	1	式			
サビ落とし(m2)		2.5	m ²			
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種	2.5	m ²			
錆止め塗料塗り	鉄鋼面(屋内外) 工程A種 塗料A種(鉛・クロムフリー1種) 現場2回目 1回目別途	2.5	m ²			
DP塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	2.5	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

建物外部改修 手摺等改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄面 DP塗り	鋼製手摺り 錆止め共	1	式			
サビ落とし(m2)		339	m ²			
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種	339	m ²			
錆止め塗り (現場1回) (基準単価)	鉄鋼面(屋内外) 塗料A種 工程A種	339	m ²			
DP塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	339	m ²			
計						
ポート面 DP塗り	隔て板 錆止め共	1	式			
下地調整 改修仕様	ポート面 RB種(塗替え面)	41.8	m ²			
素地ごしらえ (基準単価)	ポート面 工程B種	41.8	m ²			
DP塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	41.8	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

[illegible]

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]